

栃木県立那須高等学校の存続を求める意見書

第2回定例会初日(3月6日)に、議員提出による意見書を全会一致で可決し、地方自治法第99条に基づき3月10日栃木県知事・教育長に意見書を提出しました。



大島議長から県金田教育次長へ意見書提出



栃木県立那須高等学校校舎

議員提案

意見書 提出

栃木県立那須高等学校の存続を求める意見書

栃木県教育委員会は平成28年3月に提言された「今後の望ましい県立高校の在り方について」に基づき、次期県立高校再編計画案の策定を進めているところである。

提言によると1学年4～8学級を適正規模としており、1学年4学級である那須高等学校が次期県立高校再編計画案において統廃合の対象となることが危惧されている。

栃木県の最北端に位置する那須高等学校は、昭和24年に那須農業高等学校(現、拓陽高等学校)分校として設立され、昭和35年に那須高等学校として独立開校された。

平成10年には、全国的にも珍しい「リゾート観光科」が設置され、平成21年には「高校生が考えた駅からハイキング」が第1回全国高校生観光プランコンテスト(観光甲子園)で準グランプリを受賞するなど那須町の観光振興の一翼を担っている。

しかしながら、人口減少の影響により近年は定員割れの状況が続いており、那須町議会としても現状に大変憂慮しているところである。那須町の大部分は公共交通機関が十分に整っていない通学不便地域となっており、地域住民の教育機会を確保するため、那須高等学校が存続することは、地元住民の切なる願いである。また、那須高等学校は那須町にとって地域活性化の大切な柱であり、人口減少の進む那須町の地域振興と、地域を支える人材育成には必要不可欠なものである。更に那須高等学校と那須町及び関係団体においては、地域の特色を活かした教育の一層の充実を図るため「那須町・那須高校まちづくり地域連携協議会」を設立し、本町一丸となって那須高等学校の存続に向けて活動を進めている。

今後、栃木県教育委員会が高校再編計画をまとめるに当たっては、これらの実情を考慮し、画一的な統廃合措置を取ることなく、那須高等学校を是非とも存続していただくよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年3月6日

栃木県那須郡那須町議会

栃木県知事 福田 富一 様
栃木県教育委員会 教育長 様